



# IRG-S 耐火7.7kg S

## 取扱説明書

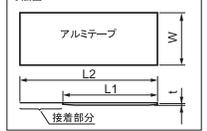
\* 国土交通大臣認定番号および(財)日本消防設備安全センター評定番号については下記の適用範囲表をご覧ください。

セット明細  
 耐火プラグ ..... 1枚  
 取扱説明書 ..... 1枚  
 国土交通大臣認定シール ..... 1枚

### ■製品仕様

型番	適合配管外径	寸法 (mm)			
		L1	L2	W	t
IRG-28S	φ28以下	120	170	55	2.5
IRG-48S	φ50以下	175	235	55	2.5

### 寸法図



- ① 作業される場合は、軍手などを着用してください。② 製品を改造(カット、アルミテープを剥くなど)しないでください。③ 認定書・評定書をご確認ください。④ ケーブル貫通に使用する場合は内線規程に基づいて行ってください。⑤ 区画貫通部で配管などが動かないようにしっかりと固定してください。

### ■適用範囲

床・壁構造	厚さ(mm)	開口(mm以下)		占積率(%以下)	配管種類	最大配管径	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター評定番号							
		丸	矩形												
床 コンクリート・ALC	100以上	φ125	125 x 507	39.99	架橋ポリエチレン管	25A	PS060FL-0552	KK23-013号							
					ポリプロピレン管※1	25A									
					ポリブテン管	25A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	25A									
					水道用(建築用)銅管※2	20A									
					硬質ポリ塩化ビニル管	30A									
					保温被覆材	φ50mm(厚さ10mm)									
					架橋ポリエチレン管	20A									
					ポリプロピレン管※1	20A									
					ポリブテン管	20A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	20A									
					さや管、CD管、PF管	φ42mm(槽口:40mm x 27mm)									
					架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A※4									
					ポリプロピレン管+制御用ケーブル※1、※3	20A※4									
					ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A※4									
中空床 耐火構造(60分)、準耐火構造(60分)の床	284.5以上	φ70	-	72.9	架橋ポリエチレン管	20A	PS060FL-0614	-							
					ポリブテン管	20A									
					硬質ポリ塩化ビニル管	20A									
					保温被覆材	φ50mm(厚さ:10mm)									
					架橋ポリエチレン管	20A									
					ポリブテン管	20A									
					硬質ポリ塩化ビニル管	20A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	25A									
					二層被覆材(エラストマー)付ポリブテン管	20A									
					被覆材(エラストマー)付ポリブテン管	20A									
					被覆材(エラストマー)付架橋ポリエチレン管	20A									
					ポリブテン管	40A									
					水道用高密度ポリエチレン管	40A									
					水道配水用ポリエチレン管(PWA)および給水用高密度ポリエチレン管(PWA)※6	75A									
					水道配水用ポリエチレン管(JWWA)※6	75A									
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管※6	75A														
外層付耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管※6	75A														
壁 コンクリート・ALC	100以上	φ125	125 x 478	42.42	架橋ポリエチレン管	25A	PS060WL-0553	KK23-014号							
					ポリプロピレン管※1	25A									
					ポリブテン管	25A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	25A									
					水道用(建築用)銅管※2	20A									
					硬質ポリ塩化ビニル管	30A									
					保温被覆材	φ50mm(厚さ:10mm)									
					架橋ポリエチレン管	20A									
					ポリプロピレン管※1	20A									
					ポリブテン管	20A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	20A									
					さや管、CD管、PF管	φ42mm(槽口:40mm x 27mm)									
					架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A※4									
					ポリプロピレン管+制御用ケーブル※1、※3	20A※4									
					ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A※4									
中空壁 耐火構造(60分)※7、準耐火構造(60分)の壁(準耐火:両面強化)せつこうボード重張(の場合100以上)	85以上(特定共同住宅の場合100以上)	φ54	-	39.64	架橋ポリエチレン管	25A	PS060WL-0673 (旧)PS060WL-0472	KK21-012号							
					ポリプロピレン管※1	25A									
					ポリブテン管	25A									
		φ52.1	-	37.96	金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	25A									
					保温被覆材	φ50mm(厚さ:10mm)									
					架橋ポリエチレン管	20A									
		φ70	-	51.02	ポリプロピレン管※1	20A									
					ポリブテン管	20A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	20A									
		φ62	-	45.89	さや管、CD管、PF管	φ42mm									
					架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A									
					ポリプロピレン管+制御用ケーブル※1、※3	20A									
		φ50	-	38.44	ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A									
					ケーブル※1	CV600V 38mm <sup>2</sup> x 3C									
					被覆材(エラストマー)付ポリブテン管	20A									
φ55	-	45.26	被覆材(エラストマー)付架橋ポリエチレン管	20A											
			二層被覆材(エラストマー)付ポリブテン管	20A											
			二層被覆材(エラストマー)付架橋ポリエチレン管	20A											
片壁 片面強化せつこうボード重張/軽金属骨下地間仕切壁	42以上	φ70	-	85.8	架橋ポリエチレン管	25A	PS060WL-0519	-							
					ポリブテン管	25A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	25A									
					保温被覆材	φ50mm(厚さ:10mm)									
					架橋ポリエチレン管	20A									
					ポリプロピレン管	20A									
					ポリブテン管	20A									
					金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	20A									
					さや管、CD管、PF管	φ42mm									
					架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A									
					ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A									
					※1. 特定共同住宅には対応していません。 ※2. 被覆材の仕様の詳細は、認定書・評定書をご確認ください。 ※3. 1.25mm <sup>2</sup> (被覆外径φ1.5mm) x 3本です。 (例) 番号線付き架橋ポリエチレン管など ※4. 貫通部はさや管(壁から300mm以上)として内管を出し施工が可能です。 ※5. 軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管 ※6. 配管の外径がφ50mmより大きい場合は、製品2枚を繋ぎ合わせてご使用ください。 ※7. ALC、コンクリート含む(国土交通大臣認定のみ)										

## 《施工手順》

### ■ 壁（中空壁・片壁（Sウォール\*）を除く）・

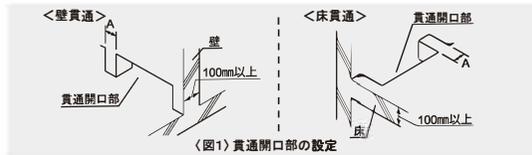
### 床（中空床を除く）の場合

\*「Sウォール」は吉野石青株式会社商標です。

#### ①貫通開口部の設定

配管サイズ、本数、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

〈注意〉消防共住区画評定における住戸と住戸間の貫通の場合、開口部ピッチAは、それぞれの貫通穴の面積を円に換算し、大きいほうの円の直径以上（当該換算した直径が200mm以下の場合は200mm以上）あける必要があります。

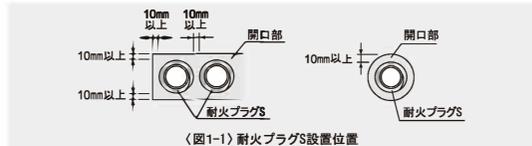


〈図1〉貫通開口部の設定

〈注意〉開口面積はそれぞれの国土交通大臣認定・消防評定の開口サイズ以下になるように貫通開口部を設けてください。

〈注意〉複数同時貫通の時は、必ず10mmピッチ以上になるように占積率を考慮の上開口してください。

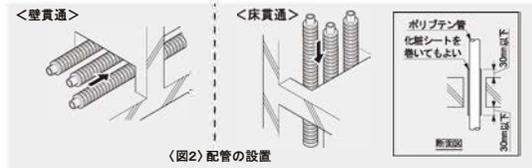
〈注意〉丸穴の場合は隙間が10mm以上になるようにして、占積率を考慮の上、開口してください。



〈図1-1〉耐火プラグS設置位置

#### ②配管の設置

配管の設置を行い、支持・固定してください。



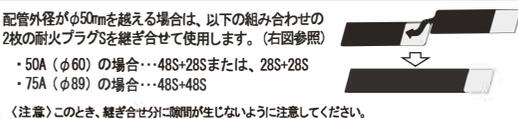
〈図2〉配管の設置

#### ③耐火プラグSの巻き付け

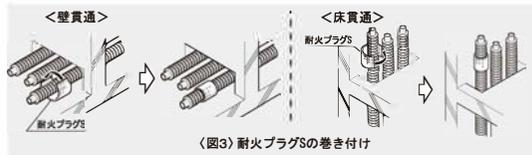
耐火プラグSを配管に対して巻き付けてアルミテープ部分を貼りつけて固定してください。

〈注意〉このとき、耐火プラグSと配管との間に隙間が無いように気を付けてください。

〈注意〉耐火プラグSIに印字されている巻き付け配管径目安ラインを参考にしてください。



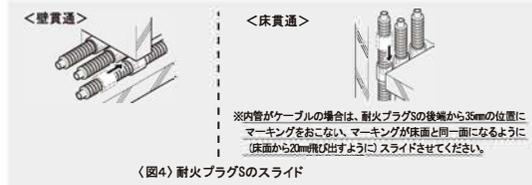
〈注意〉このとき、縫ぎ合せ分に隙間が生じないように注意してください。



〈図3〉耐火プラグSの巻き付け

#### ④耐火プラグSのスライド

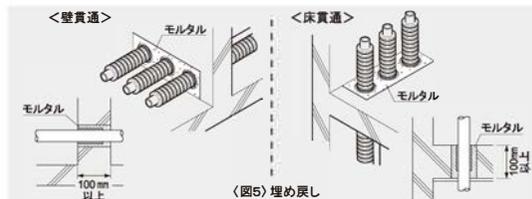
耐火プラグSの端面を壁面・床上面に面一になるように配管に沿わせてスライドさせてください。



〈図4〉耐火プラグSのスライド

#### ⑤埋め戻し

貫通開口部と配管の隙間に100mm以上モルタルで埋め戻してください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。なお、床貫通の場合はあて板をあて、モルタルで埋め戻してください。乾燥後はあて板を取り外してください。



〈図5〉埋め戻し

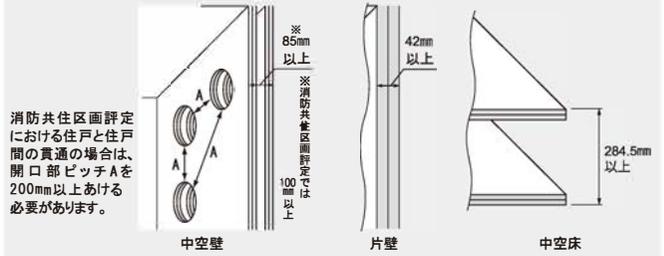
### ■ 中空壁・片壁（Sウォール\*）・中空床の場合

#### ①貫通開口部の設定（中空壁・片壁・中空床共通）

配管サイズ、本数、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

〈注意〉貫通させる配管外径に20mm(中空壁)、4~20mm(片壁)、8.6~20mm(中空床)加えた値を開口径とします。

〈図1〉貫通開口部の設定



#### ②配管の設置（中空壁）

配管の設置を行い、開口穴の縁から10mm離れるように支持・固定してください。

〈図2〉配管の設置（中空壁）



#### ②配管の設置（片壁）

配管の設置を行い、開口穴の縁から2~10mm離れるように支持・固定してください。

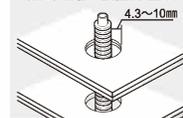
〈図2〉配管の設置（片壁）



#### ②配管の設置（中空床）

配管の設置を行い、開口穴の縁から4.3~10mm離れるように支持・固定してください。

〈図2〉配管の設置（中空床）



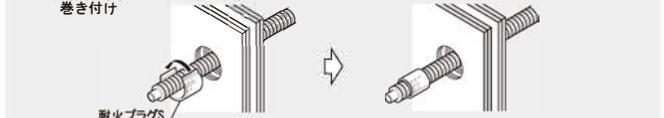
#### ③耐火プラグSの巻き付け（中空壁・片壁・中空床共通）

耐火プラグSを配管に対して巻き付けてアルミテープ部分を貼りつけて固定してください。

〈注意〉このとき、耐火プラグSと配管との間に隙間ができないように注意してください。

〈注意〉耐火プラグSIに印字されている巻き付け配管径目安ラインを参考にしてください。

〈図3〉耐火プラグSの巻き付け



#### ④耐火プラグSのスライド（中空壁・片壁・中空床共通）

耐火プラグSの端面を壁面に面一になるように配管に沿わせてスライドさせてください。

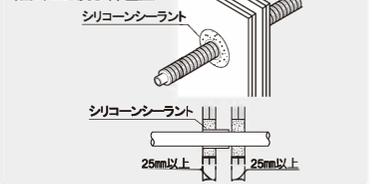
〈図4〉耐火プラグSのスライド



#### ⑤埋め戻し（中空壁）

貫通開口部と配管の隙間に、壁表面の両側から25mm以上シリコンシーラントで埋め戻しをしてください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。

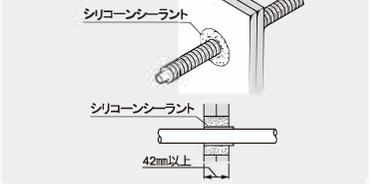
〈図5〉埋め戻し（中空壁）



#### ⑤埋め戻し（片壁）

貫通開口部と配管の隙間に、壁表面から42mm以上シリコンシーラントで埋め戻しをしてください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。

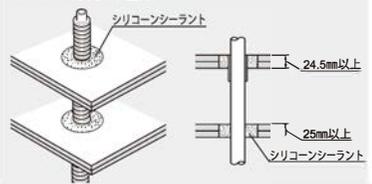
〈図5〉埋め戻し（片壁）



#### ⑤埋め戻し（中空床）

貫通開口部と配管の隙間に、床上部表面から24.5mm以上、床下部表面から25mm以上シリコンシーラントで埋め戻しをしてください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。

〈図5〉埋め戻し（中空床）



■『消防評定一括マーク』について

耐火プラグSを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(一財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評定)されています。特定共同住宅等の壁(特定共住区画)でのご使用の際は、必ず性能評定品である旨の表示(評定一括マーク又は評定証票)が必要になります。こちらの請求カードに必要枚数等をご記入の上、弊社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評定一括マーク」をお送りいたします。

**消防評定一括マーク  
請求カード**



**因幡電機産業株式会社 因幡電工事業部**

営業所 行

(注)消防評定一括マークは、特定共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。特定共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)口項に規定されている「寄宿舍、下宿又は共同住宅」に適用されています。

FAX ( ) —  
 ※上記枠内に下記の最寄の営業所名をご記入の上、FAXにてお送りください。  
 ※楷書体でご記入ください。  
 ※現場単位でまとめて1枚の消防評定一括マーク請求カードでお送りください。

<p><b>IRG-S 耐火7.7" S</b></p>	<p>(一財)日本消防設備安全センター 評定:                  KK23-013(床)(共住) / KK25-009(床)(共住) /                  KK23-014号(壁)(共住) / KK25-010(壁)(共住) /                  KK21-012号(壁・中空壁)(共住) / KK25-011号(壁・中空壁)(共住)</p>
------------------------------	---

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご購入店	TEL ( ) —

▼ ご請求枚数

消防(特定共住区画) 評定一括マーク ご請求枚数 (注) 評定一括マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚貼付してください。					
KK23-013号(床)(共住)	枚	KK23-014号(壁)(共住)	枚	KK21-012号(壁・中空壁)(共住)	枚
KK25-009号(床)(共住)	枚	KK25-010号(壁)(共住)	枚	KK25-011号(壁・中空壁)(共住)	枚

▼ 施工のご確認

取扱説明書に基づき施工完了された事を  
ご確認の上でご署名およびご捺印してください。

▼ 送付先 ※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

貴社名			
所属部署		ご担当者名	
ご住所	〒		
TEL	( )		—

**因幡電工事業部  
因幡電機産業株式会社**

(最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください)  
<http://www.INABA-DENKO.com/>  
 本部 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川(11F)

札幌営業所 ☎(011)209-1784 横濱営業所 ☎(045)470-1780 広島営業所 ☎(082)545-1132 東京推進課 ☎(03)5783-1721 FAX (03)3474-1715  
 仙台営業所 ☎(022)293-1785 名古屋営業所 ☎(052)541-1780 FAX (052)541-1791 / 九州1・2課 ☎(092)283-1785 FAX (092)262-1787 / 名古屋推進 ☎(052)541-1780 FAX (052)541-1791  
 関東営業所 ☎(048)642-1783 FAX (048)642-1756 / 金沢営業所 ☎(076)262-1783 FAX (076)262-1787 / 広域1課(大阪) ☎(06)4391-1713 FAX (06)4391-1945 / 大阪推進課 ☎(06)4391-1941 FAX (06)4391-1905  
 首都圏1課 ☎(03)5783-1723 FAX (03)3474-1718 / 近畿1課 ☎(06)4391-1940 FAX (06)4391-1945 / 広域2課(東京) ☎(03)5783-1722 FAX (03)3474-1716 / 福岡推進課 ☎(092)283-1785 FAX (092)262-1787  
 首都圏2課 ☎(03)5783-1724 FAX (03)3474-1719 / 近畿2課 ☎(06)4391-1732 FAX (06)4391-1945

※商品に関するお問い合わせは、お近くの営業所へ、お気軽にどうぞ。

# ケーブル防災設備協議会工法表示ラベル請求用

耐火プラグSは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際、工法表示が必要な場合に発行いたします。

ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。

- 【注意】
- ケーブル以外の配管貫通部には、工法表示ラベル(ケーブル防災設備協議会)を貼らないでください。同梱の国土交通大臣認定表示シールをご活用ください。
  - 認定外への施工については、ラベルの発行をいたしません。
  - 後日お電話にて施工箇所数、送り先、施工品質などの確認をさせて頂くことがあります。

## ■『工法表示ラベル』について

耐火プラグSは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。国土交通大臣認定番号通りに正しく施工された事を表示するために「工法表示ラベル」を発行しています。ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際に工法表示が必要な場合に発行いたします。ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「講習会修了番号」(ケーブル防災設備協議会主催 ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会 受講修了者の場合)、「施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。「工法表示ラベル」は、1貫通穴に1枚です。

ケーブル防災設備協議会  
工法表示ラベル請求カード



因幡電機産業株式会社 技術開発センター

工法表示ラベル担当者 行

FAX (06)6618-1787

**IRG-S 耐火プラグS**

国土交通大臣認定：  
PS060FL-0552 (床) /  
PS060WL-0673 (壁・中空壁) ((旧) PS060WL-0472)

※ 下記空欄にご記入の上、FAXにてお送りください。(消防評定一括マークの請求先とは異なります。ご注意ください。)  
※ 楷書体でご記入ください。 ※ 現場単位でまとめて1枚のご請求カードでお送りください。

## ▼ 施工内容

現 場 名	
所 在 地	
施 主 名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご 購 入 店	TEL ( ) -

## ▶ ご請求枚数

ケーブル貫通部の防火措置工法表示ラベルご請求枚数  
(注) 工法表示ラベルは、1貫通穴に対して1枚必要です。

枚

## ▶ 施工のご確認

・取扱説明書に基づき施工完了しました。  
・ケーブル貫通用として使用しました。  
上記をご確認の上でご署名およびご捺印してください。



印

## ▼ 送付先

貴 社 名			
所 属 部 署		ご 担 当 者 名	
ご 住 所	〒		
T E L	( )		-

※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

因幡電機産業株式会社